

虐待ゼロへ

いのちに
ハグを。

とちぎ

section 25

企画・制作 下野新聞ビジネス局
企画監修 栃木県
栃木県警察本部

虐待環境から逃れたら全て解決、
終わりではありません。虐待を受けた
若者たちは心に深い傷を負い日々苦
しみと闘いながら生きています。こ
うした若者の声を集めた映画を制作し
た支援団体代表の山本昌子さんに、
若者の状況や支援についてお話を伺
いました。

虐待から逃れても「闘う」子どもたち

映画無料公開で
全国に広がり

生後4カ月から18歳まで、
乳児院や児童養護施設で育つ
た私が企画・監督したのが、児
童虐待を経験した若者たちの
ドキュメンタリー映画「REAL
VOICE（リアル ヱイス）」です。
公開から1年たち、今年4月には宇都宮でも上映
会を開き大勢の方に見ていた
だきました。髪をピンク色に
染めています。ピンクは映画
のイメージカラーなんです。

虐待は、親から引き離した
ら、大人になったら、終わりに
ではありません。苦しみや痛
みを抱えながら生きる若者は
少なくないのです。若者の声
を発信して状況を知ってほ
しい、孤

独を感じ希望を見出せず生
づらい社会を変えたい、とい
う思いで制作しました。

上映イベントは原則無料
で、宇都宮をはじめ全国で開
催され、たくさんの方が会場
に足を運んでくださり驚いて
います。動画配信サイトを使
用した無料配信も行っていて
、同じ境遇の人達からは「人
じゃない、頑張ろう」と思っ
た」との声が寄せられました。
映画をきっかけにSOSが出
せるようになった人もいま
います。

生きる力を生み出す支援

本業は映画監督ではありません。
社会的養護や虐待を経験
した若者を支援するボラン
ティア団体「ACHA（あちや
プロジェクト）」の代表で9年
目になります。なぜ若者を
対象にしているかというと、
私自身施設を出た18歳から
22歳の頃が一番辛かったか
らです。

成人を迎えても経済的な事
情で振り袖を着られませ
んでした。そのような中、先
輩が振り袖を用意し着せて
祝ってくれました。それが
とても生きる力になりました。

この経験から、「生まれてき
てくれてありがとう」とい
うメッセージを込めて振り
袖やはかまを着る機会を提
供して成人を祝い、記念写
真をプレゼントしています。
現在は若者の居場所ま
「HOUSE（ハウス）」の運
営、親も子も「まるま
る」支援する事業なども行
っています。

否定せずに聞く心が大切

若者たちと接する中で意識
しているのは、彼らが何を
伝え

たくて、何をしてほしいのかを
「聞く心」です。支援の経験
を積み重ねるほど「こうす
ればうまくいく」という思
いが先行しがちですが、真
刻に生きているからこそ考
えすぎて、幸せになれない
理由を見つけて支援の手
がつかめない子もいます。

その子なりの思いや行動
なので、支援者から見ると
良い状況ではなくても「あ
あ、そうなんだね。じゃあ
どうしようか」と、何年か
かろうが「一緒に考えてい
くことが大切です。命に
危険がある場合を除いて、
支援される側の意思やタイ
ミングを尊重し「今日」に
いられて私はずいぶん、こ
れからも一緒にいたいと思
っている」というメッセージ
を伝えています。

支援の方法は自ら行動す
る、寄付、話題にするなど
たくさんあります。自分を
大切にしたい上で、できる
ことをしていかないと、こ
れがでしようか。普通に
見られる」とは言いづら
い世の中です。まずは自
分のつながりの中で、困
っている人や物事を見つ
けて支え合い、それぞれ
が自分を愛して生きること
ができる社会、そんな社会
になってほしいと思います。

ACHAプロジェクト代表
やまもと まさこ
山本 昌子 さん

1993年生まれ。東京在住。生
後4カ月から18歳まで養護
施設で過ごす。2016年から
児童養護施設出身者への支
援活動を始め、23年に映画
制作。こども家庭庁こども
の居場所部会委員などを
務める。今年8月にKADOKAWAから、映画を
さらに深掘りしたノンフィ
クション「親が悪い、だけ
じゃない 虐待経験者たち
のREAL VOICE」を出版
予定。



私たちは「虐待ゼロへ いのちにハグを。とちぎ」を応援します

藤井産業株式会社

FUTABA フタバ食品

栃木トヨタ自動車

トヨタ カローラ栃木

晋豊建設株式会社

KSK環境整備

創業明治十五年
宮島醤油株式会社

Meiko Kids
明光キッズE

co-op
コフアリ
とちぎ「コープ」
食卓を笑顔に、地域を豊かに。

pal*system
生協パルシステム茨城 栃木

一般社団法人
栃木県医師会

まなびの森 保育園

あずま 保育園

駅ひがし 保育園

あさひの 保育園

ひので 保育園

獨協医科大学病院

益子カントリー倶楽部

学校法人やまぎき学園 認定こども園 釜井台幼稚園／
認定こども園 西那須野幼稚園／みふみ認定こども園
■西那須野ロータリークラブ 〈順不同〉

いのちにハグを。サポーター

カンガルーOYAMA 会長 大久保幸子、立正大学 教授 大竹智、
子ども虐待防止ネットワークとちぎ 代表 福田雅章、
栃木フォスティングセンター 代表理事 畠山憲夫、歌う海賊団ツ、
NPO法人レインボー 代表理事 宮田里枝、
(一社)栃木県若年者支援機構 代表理事 中野謙作、
とちぎ男女共同さんかくねっと 理事長 大澤里香 〈順不同・敬称略〉

企画監修

栃木県

TOCHIGI POLICE
栃木県警察

「児童虐待かも…」と思ったら、すぐにお電話ください

無料 ※一部のIP電話からはつながりません

児童相談所
虐待対応
ダイヤル

189